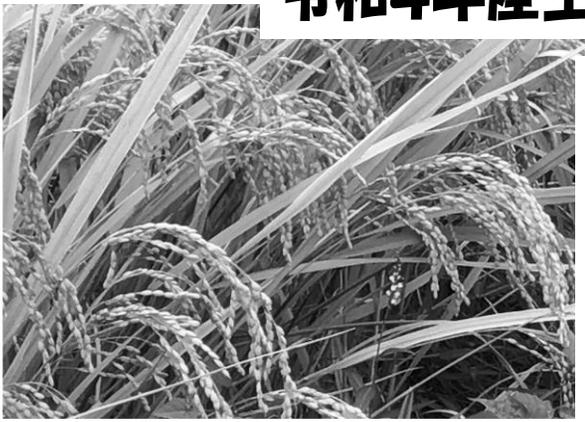


米価暴落・生産資材高騰への支援策が示される

令和4年産主食用米作付けに2000円(10アール)



民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049

1月17日に開催された奥州市議会全員協議会において、新型コロナ感染症禍における米価暴落・資材高騰対策への農家支援策が示されました。

日本共産党市議団は、コロナ禍による米価暴落が予想されたことから、昨年9月議会、12月議会と一般質問で「より踏み込んだ込んだ支援策」を求めてきました。

種子代の半額+資材高騰分≒2000円

小沢昌記市長は、岩手県内最大の作付地であり、「水稲作付農家が意欲をもって事業継続できるように支援したい」として、令和4年産米(飼料米を除く)を作付けし、出荷・販売する生産者を対象に、水田台帳に記載されている水稲作付面積10アール当たり2000円を交付する方針を明らかにしました。

担当部長は、10アール当たり2000円について、次のように説明しました。

- ①令和3年産米の作付け支援で行った種子代の半額1160円の支援に、資材高騰への対策支援として840円加算する。
 - ②国から交付される地方創生臨時交付金を充てるとし、限られた財源のなかでの最大の対応である。
 - ③対象は、主食用米として出荷する生産者であること。
 - ④補助金申請は7月、交付は8月開始とする。
- ※申請は、出荷先が認定方針作成者(2農協と1集荷事業所)の場合、その出荷先。それ以外の出荷の場合奥州市に直接申請とする。

⑤令和3年産主食用米への作付け農家支援(10アール1160円)の申請率は82.1%、予算執行率96.2%(対象は全作付け農家で、未申請は作付け面積が小さい農家になっている)



国による抜本的対策が求められる!

今回のコロナ禍による米過剰は、来年以降に持ち越される

ことが指摘されています。岸田政権は、「米価は市場で決まる」との立場をとっています。生産農家は史上最大の減産が強いながら、毎年70万トンの米(ミニマムアクセス米)が輸入されています。国は、効率優先政策を転換し、備蓄米の買い増しを行い「米を市場隔離」し、米価の下支えと、コロナ禍での生活困窮者や学生への支援にまわすべきです。また、ミニマムアクセス米輸入をやめるべきです。

日本共産党国会議員を迎えての“新春演説会”に参加を!

2022年の新春をお祝いし、国会議員をお迎えして『日本共産党新春演説会』を下記により開催します。今回は水沢出身の衆議院議員、こくた恵二さんをお迎えしお話をいただきます。当日は、瀬川貞清・千葉敦・今野裕文・菅原明各市議会議員、佐藤美雪党子ども・ジェンダー平等対策チームリーダーもお話しします。ぜひ、誘い合っ



弁士：こくた恵二
党国会対策委員長

●とき：1月29日(土)

◇午前10時30分から
江刺・愛宕地区センター

◇午後2時から
水沢・Zホール

●とき：1月30日(日)

◇午後1時30分から
胆沢・文化創造センター
◇午後3時30分から
衣川・衣里地区センター

市政報告会



日本共産党
県議会議員
千田みづ子

1月16日

昨日から今日にかけて、江刺の2地区センターで開催された千葉敦市議の市政報告会に参加。雪の中、日頃からお世話になっていらっしゃる方々などが駆けつけてくださいました。

治を変えるため、力を貸して欲しいと訴えました。久々の市政報告会でしたがコロナ禍であるからこそ、双方の議論が重要だと感じました。

千葉市議は市政の重要課題である市立医療施設の整備問題を中心に市政報告。私からは、胆江地域及び県内の重要課題でもある周産期医療問題等について報告。その後、参加の皆さんからの質問を受けましたが、農業や特養増設問題、学校統合問題と地域の過疎、空き家対策、県道の整備など、多くの質問や意見が出されました。丁寧に説明し、今後も政



(facebook より)